

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年7月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0175900075		
法人名	有限会社 長建寄り逢い長崎		
事業所名	グループホーム 夕張汽笛が聞こえる		
所在地	北海道夕張市本町4丁目45番地 (電話) 0123-53-2688		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年7月11日	評価確定日	平成21年7月14日

## 【情報提供票より】(平成21年4月10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年3月30日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	7人	常勤	7人, 非常勤 人, 常勤換算 7人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,810~62,970円	その他の経費(月額)	7,500~15,000円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		570円

### (4) 利用者の概要(4月10日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2			
要介護3	6名	要介護4		1名	
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 89歳	最低	81歳	最高	98歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	夕張市立診療所、栗山赤十字病院、長沼町立病院
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用料金を低く抑える努力や食費を安価にするために食材の購入に工夫を凝らし利用者・家族の負担軽減に取り組んでいる1ユニットのグループホームです。また、財政破綻した夕張市にあって医療面に於いて決して恵まれていない環境の中で近隣市町村への受診の送迎や身体状況に応じて、福祉車輛の購入、暑さ対策のためのエアコンの設置など利用者本位の取り組みも行われています。総合施設長は、長崎市から夕張市に住居を移転して夕張消防団員の活動や自治会活動などに参加したり、地元の閉鎖になった公衆トイレの再開やホームを開放して観光客などのトイレの利用ができるようにするなどホーム機能の地域への還元が行われています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の定期的な開催について課題が挙げられていましたが、夕張市職員や包括支援センター職員、老人会会長などが参加して定期的に運営推進会議が開催されホームの取り組み状況や火災避難訓練など具体的に報告され意見交換されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 日々のミーティングや会議の中で評価を実施する意義を確認しあい、自己評価及び外部評価を活かして課題を明確にして具体的な改善に取り組んでいます。また、運営推進会議において説明されケアサービスの向上に活かされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、定期的開催され、主な議題については利用状況についての報告 ホーム行事について(父の日、誕生会など) 火災避難訓練及び避難誘導について 委員からの質問、要望、意見について 地域貢献について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 利用者の状態変化時の連絡や相談が都度行われ健康面での対応が話し合われています。また、家族の来訪時には日常生活の様子が報告されたり、家族の意見や不安な点への対応が行われそこでの意見が運営に反映されています。また、家族の経済状況や特殊事情に配慮し、グループホーム内での葬儀への支援も行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地元の閉鎖になった公衆トイレの再開やホームを開放して観光客などのトイレの利用ができるようにするなどホーム機能の地域への還元が行われています。また、夕張消防団員の活動や自治会活動、老人会活動などに積極的に参加したり、日頃から行政との行き来や地元商店からの日用生活用品を買い入れるなど地域との連携・貢献に取り組んでいます。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、利用者本位の事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	総合施設長、管理者・職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元商店からの日用品を買い入れや地元の閉鎖になった公衆トイレの再開やホームを開放して観光客などのトイレの利用ができるようにするなどホーム機能の地域への還元が行われている。また、夕張消防団員の活動や自治会活動、老人会活動などに参加し地域との連携に取り組んでいる。		特筆すべき点として、自治会活動や地域住民との交流、公衆トイレの再開への支援など地域との密着した関係が築かれている。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日々のミーティングや会議の中で評価を実施する意義を確認しあい、自己評価及び外部評価を活かして課題を明確にして具体的な改善に取り組んでいる。また、運営推進会議において説明されケアサービスの向上に活かされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的実施され、具体的な取り組みが行われている。委員は、利用者、家族、老人会会長、夕張市職員、包括支援センター職員、町内会役員、民生委員、経営者、管理者で構成されケアサービスの質の向上に活かされている。		特筆すべき点として、行政と連携した運営推進会議の運営が行われていると共に日ごろより行き来する機会を作っている。
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	夕張市担当者及び包括支援センター職員とは、日ごろより行き来する機会を作り、連携を取りながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時には日常生活の様子が報告されたり、家族の意見や不安な点への対応が行われそこでの意見が運営に反映されている。また、家族の経済状況や特殊事情に配慮し、グループホーム内での葬儀への支援も行われている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の状態変化時の連絡や相談が都度行われ健康面での対応が話し合われ、家族の意見や不安な点への対応が行われてそこでの意見が運営に反映されている。また、金銭出納についても定期的に報告されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	理念を実現するために総合施設長は、個々の職員の段階に応じた、緊急時の対応や認知症の知識、ホーム内の料金設定など社内試験として実施して、職員の力量の向上に努め、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ホームの見学はいつでも受け入れて、他施設（高齢者福祉施設、同業者など）の介護支援専門員との交流や情報交換、医療機関など情報交換しながらケアサービスの質を向上する取り組みをしている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて入浴や食の嗜好の把握、外出や趣味への支援など本人本位に検討している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されて家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。		職員の介護計画に対する理解を深める取り組みへの検討が行われている。
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、状態変化に応じて随時見直しを実施し、介護支援専門員の適切な監理のもとに、現状に即した介護計画の作成が行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	財政破綻した夕張市にあって医療面に於いて決して恵まれていない環境の中だが本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、近隣市町村の専門医への受診や訪問看護の利用など適切な医療が受けられるように支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、訪問看護の利用や遠方の医療機関への受診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について早い段階から本人・家族の意志が確認され、全ての職員に方針が共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや記録の扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、利用者の希望や思いを把握し、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者や職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食費を安価にするために食材の購入に工夫を凝らし利用者・家族の負担軽減に取り組んでいる。また、食事やおやつには野菜を多く取り入れたり、果物を添えるなど栄養バランスにも気を使われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、ゆっくりと入浴が楽しめるように工夫され週3回を目安に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら花見や盆踊り、花火見物などで気晴らしの支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出したとき利用するトイレが少なく苦労しているが、散歩、花見や温泉入浴、花火見物、よさこい見物などできるだけ戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけずに自由に出入りが可能となっており、家族や見学者などいつでも見学できるように開放している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	総合施設長は、消防団に所属し、実技を伴う火災避難訓練や避難誘導訓練、救急救命訓練が定期的に実施されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事やおやつには野菜を多く取り入れたり、果物を添えるなど栄養バランスにも気を使われている。また、具体的な食事や水分の摂取量、栄養バランスが把握され個々に応じた支援が行われている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間では、子犬が飼われ利用者の安定や癒しに繋がっている。また、リビングでは利用者が集い家庭的雰囲気が感じられる。広く作られた窓からは、近隣の様子や山々の新緑や紅葉が見られて季節感が感じられる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人や家族と相談しながら、仏壇やテレビ、使い慣れた家具などが持ち込まれ居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。